

KIP インターナショナル・スクール概要

■代表経歴

Dr. Luciano Carrino (Dr. ルチアーノ・カッリーノ)

KIP インターナショナル・スクール総裁、兼科学委員会上級代議員。

精神科医の資格を有する。OECD/DAC 貧困対策グループ(POVNET)副総裁 - 2011 年 12 月就任。イタリア外務省が後援する人間開発プログラムの技術担当責任者を、UNDP,WHO,ILO,UNHCR,IFAD,UNOPS UNIFEM HABITAT,その他の各国駐在国連機関と共に 20 年以上にわたり務めてきた。



Dr. Famiano Crucianelli (Dr. ファミアーノ・クルチアネッリ)

KIP インターナショナル・スクール副総裁。

2006 年から 2008 年まで元イタリア共和国外務省副大臣、同時にヨーロッパ・EU 関連機関へ向けてのイタリア政府代表団に所属。同期間を含む 1979 年から 2006 年までイタリア国会議員に選出され、同議会の外交協力委員会メンバーを務めた。クルチアネッリ氏はまた、ヨーロッパ安全協力機構(OSCF)へのイタリア国会代表団の一員を務めた。



■KIP スクールの運営

KIP スクールは、活動を支える各国政府、地方自治体、国際機関、公的・私的組織体の代表からなる総会により運営される。

総会はエドガール・モラン(仏社会学者)を議長に置く、科学委員会の指導を仰ぐ。

科学委員会は 2004 年、UNESCO(国連教育科学文化機関)と UNDP(国連開発計画)、UNIFEM(国連女性開発基金)、UNOPS(国連プロジェクトサービス機関)の各関係機関の協力の下に設立され、2010 年からは、ILO(国際労働機関)、UNEP(国連環境計画)、WHO(世界保健機構)とも関係性を持つようになった。



KIP スクールの活動を大まかに言えば、科学、文化、国際連携の各分野から選出された専門家の助言により、研究・研修機関の国際的ネットワークを築くこととである。

組織体制としては、総裁、事務総局、個別の関係各組織からなる部会から構成される。

■主な活動

KIP スクールは、個別のパートナーとの間で合意された優先順位に基づいて業務を遂行するのみに終わらず、関係各国と共に国際的な水準で次のような活動を行う。

- ・(地域発展に必要な)新しい知識の獲得と普及
- ・研究機関のネットワーク化
- ・トレーニング・高度教育プロジェクト
- ・戦略的かつ革新的プロジェクト

■任務遂行窓口

国際連合との協同で設置された幾つかのプログラムも KIP スクールの活動の一部であり、長期にわたる経験の積み重ねから、これらの計画は次の任務遂行窓口を形成するようになった。

- ・ ILS LEDA プログラム (1998 年～、協力機関 ILO, UNDP UNOPS)

"LEDA"は(Local Economic Development Agencies = 地域経済発展局)の略

リンク：<http://www.ilsleda.org>



- ・ IDEASS プログラム (2001 年～、協力機関 ILO, UNDP, UNIFEM, UNOPS)

より高度な地域発展を目指しパートナーシップの構築に注力

リンク：<http://www.ideassonline.org>



- ・ SIP サービス (1991 年～、協力機関 UNDP, UNOPS)

主にヨーロッパのコミュニティー間でパートナーシップの構築に実績

- ・ UNIVERSITAS プログラム (2001 年～、協力機関 ILO UNDP UNOPS)

"human development"(人間開発)をテーマに各国大学と連携、講座などを提供

リンク：<http://www.universitasforum.org>



以上